

第11回 スマートライフスタイル大賞 奨励賞

3R推進賞 EM普及活動研究会

EMと密閉容器で有用発酵の輪を広げよう
(簡単便利な百円タッパで生ごみリサイクルしてみませんか)

「活かそう生ごみ・咲かそう草花・楽しく作る」家庭菜園を合言葉に、定期講習会(年12回)開催。生ごみの減量と環境の浄化を目的に活動を続けて20年の節目を迎えた。町会・自治会・商店街への出張講習会や各種イベントによる生ごみリサイクルの啓発活動、出前授業を通して、トイレ悪臭除去・体育館汗臭除去・放逐カビ臭除去・プールヘッド口臭除去等々の活用法の指導実践や多摩区と共同で、前川堰下水路ヘッド口浄化活動を実施した。また、農園にCO₂削減と土壌改良につながる整流炭作りを提案し、CO₂削減と土壌改良ができた。



第11回 スマートライフスタイル大賞 奨励賞

3R推進賞 和光産業株式会社

床ワックスのリサイクルでCO₂を削減

ビルメンテナンス業界において、産業廃棄物として焼却処理されCO₂を排出する「床ワックス剥離液」を、ワックスと水に分離し、回収したワックス成分を再利用することにより、CO₂の排出を削減した。トイレズスでは、床清掃で排出する「剥離液」を「おうじ物炭固剤の原料に、JR東日本の車両清掃から排出される「剥離液」は、アスファルト補修の骨材として再利用している。




第11回 スマートライフスタイル大賞 奨励賞

3R推進賞 株式会社渡辺土木

CO₂排出ゼロの会社経営への挑戦 **アクト5 ACT V**

身近で手軽に実践できるエコな取り組みを、循環型社会の構築に貢献を図った。コンポスト4基を会社敷地内に設置し、有機物を発酵・分解を促し堆肥とし、敷地内や関連施設で栽培している農作物や観葉植物の育成に利用した。合わせて生ごみ処理機を導入した。また、プラスチック容器とペットボトルの不使用を宣言したり、社員全員にマイボトルを支給しウォーターサーバーから給水している。



第11回 スマートライフスタイル大賞 奨励賞

省エネ貢献賞 株式会社ランドサーベイ

SDGsを通じて環境への取り組みを広げよう!

環境への取組を行い、社員の環境意識の向上やCO₂の削減に貢献した。CO₂削減の取組として、水素自動車導入や営業車全台エコカーの使用、電気使用量の監視システムの使用(事務所内空調温度の適正化、不要照明の消灯)、屋内のLED化を行った。また、SDGsの自社の取り組み事例の発表などを通して、地域の方にエコな取り組みが広がるよう啓発を行っている。



第11回 スマートライフスタイル大賞 奨励賞

地域共生推進賞 セカンドライフ支援研究会

リポーンプロジェクト

循環型経済を実現するために、端材を提供する企業、端材を新たなものに生み出す方法を考え出すクリエイター、そしてその方法を用いて実際に端材を新しい空に変えるワークショップと一般参加者の関係を確立させた。端材工作体験や複数ワークショップの展開を企画・運営し、企業の廃棄物削減と、一般人の「手作り」志向・体験の拡大を、マッチングさせ、廃棄物削減の継続性と拡大性を実現した。



第11回 スマートライフスタイル大賞 奨励賞

地域共生推進賞 株式会社SKLO

Sports Upcycleからゴミ削減を目指そう!
廃棄ボールからつくるKeyballder

使えなくなったサッカーボールを回収するBOXを工場に設置したり、スポーツチームから提供していただき、Keyballderのワークショップや販売を行っている。ワークショップを通して、「使えなくなったものでも捨てるだけでなく、活用して生まれ変わらせることができる」ということを知ることで、環境意識の向上につなげた。
※Sports Upcycle Keyballder Projectは株式会社SKLOと合同会社扇車との協業事業です。



第11回 スマートライフスタイル大賞 奨励賞

環境教育貢献賞 Ethical&SEA アトレ川崎店

エシカルな生き方を広げ 次の世代まで青い地球を残す

日々お客様にエシカル消費・サステナブルの大切さを伝えるとともに、日常生活において身近なところから地球環境への意識を高めるために、ワークショップを通して自分事になるように地域の子どもたちへ教育を行っている。SDGsランドでは、ワークショップにてCO₂削減の大切さを伝えると同時に、店舗の理念と地球環境への取り組みをチラシと共に300名の方に伝え啓蒙した。



お問い合わせ先

川崎市環境局脱炭素戦略推進室

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地
[TEL] 044-200-3871
[E-mail] 30dtanso@city.kawasaki.jp




CO₂削減

第11回

スマートライフスタイル大賞 2022



第11回スマートライフスタイル大賞受賞者

- 最優秀賞**
- 特別養護老人ホーム潮見台みどりの丘 すべては小さな一歩から
 - 平間小学校 平間プライドでSDGsアクションとカーボンゼロチャレンジ
- 優秀賞**
- 横浜銀行(川崎支店)
 - 株式会社ten
 - 富士通株式会社
 - 株式会社アルファシステムズ
 - 新城小学校
- 奨励賞**
- EM普及活動研究会
 - 和光産業株式会社
 - 株式会社ランドサーベイ
 - セカンドライフ支援研究会
 - 株式会社渡辺土木
 - 株式会社SKLO
 - Ethical&SEA アトレ川崎店



CO₂削減

第11回

スマートライフ スタイル大賞 2022

第11回
スマートライフスタイル
大賞
最優秀賞

特別養護老人ホーム潮見台みどりの丘 すべては小さな一歩から

120人の要介護3以上が暮らす特別養護老人ホームでは、ほとんどの方がおむつを使用しており、当ホームでは、おむつの交換時に必要となるビニール袋の代わりに、消臭防湿効果のある新聞紙を使っている。12年間で250万枚のレジ袋は1億5250万グラムのCO₂削減に貢献できたことになる。新聞が足りないため近所、家族、ボランティア、新聞販売店の力を借りている。おむつを包む時に扱い易くなるよう新聞紙を半分に切り、畳む作業は、入居者の「お仕事」になっており、年を重ねても人の役に立ちたいと考えていらっしゃる入居者のやりがいとなっている。

また、「SDGs新聞」や入居者の御家族に向けたお便りを発行し、みどりの丘でのSDGsの取組や家庭でもできる取組を発信している。



第11回
スマートライフスタイル
大賞
最優秀賞

平間小学校 平間プライドでSDGsアクションと カーボンゼロチャレンジ

SDGs理念で学校経営を行い平間プライド（自己受容・他者信頼・貢献感）を育て、子どもと学校・家庭・地域が共に2030年に向けて持続可能な未来を創って行くため、地域を巻き込むSDGsアクションとカーボンゼロチャレンジ脱炭素授業の構築に重点を置き、CO₂削減に貢献した。生活科・総合的な学習の時間等の授業では、SDGsアクションプロジェクト学習やカーボンゼロチャレンジ脱炭素授業を実施した。また、教職員、PTA、コミュニティ・スクールが家庭や地域にSDGsと脱炭素の啓蒙活動を行う等学校全体で様々な取組を実施した。



CC川崎エコ会議・川崎市では、市民や事業者等の省エネ・節電等のCO₂削減に貢献する優れた取組を表彰しています。「第11回スマートライフスタイル大賞」では、**最優秀賞2件、優秀賞5件、奨励賞7件**の表彰を行いました！

※CC川崎エコ会議とは、市内の多様な主体（市民、事業者、教育機関、行政等）による地球温暖化対策の推進ネットワークです。

第11回
スマートライフスタイル
大賞
優秀賞

株式会社横浜銀行（川崎支店） 自然換気システムを活用した環境配慮型の店舗

川崎支店の建替計画にともない、環境に配慮した店舗づくりをおこない、地域社会の持続的成長に貢献した。2階から10階まで貫くチムニー（煙突）を設置するとともに、対向に給気窓を配置し、電源負荷を低減したり、水平庇を設置し、夏季の日射抑制効果ならびに冬季の日射効果により、室内の空調負荷を低減した。また、全館LED照明の導入や人感センサーによる点滅制御など、省エネルギー性の向上を図ったり、バーパレスの取り組みの啓発をおこなうなど、環境負荷の削減に取り組んでいる。



第11回
スマートライフスタイル
大賞
優秀賞

ten株式会社 地元生産者との共創による、廃棄予定の素材を活用した「循環と持続性」をテーマとしたサステナブル商品の開発

地元生産者との共創による、廃棄予定の素材を活用した「循環と持続性」をテーマとしたサステナブル商品の開発を目的に、パンづくりやお菓子づくりで培われたノウハウ・技術を駆使し、廃棄されてしまう「おから」を活用した商品開発を行い、廃棄物を削減し、新たな価値に転化した。また、地元の果樹生産者との取り組みで、摘果のため早めにとってしまう果物を譲っていただきそこから天然酵母をつくり、生産者へはその酵母で作ったパンをお裾分けするという循環の仕組みを作った。



第11回
スマートライフスタイル
大賞
優秀賞

富士通株式会社 川崎工場 厨房リニューアルによるCO₂削減とフードロス削減

厨房設備のリニューアルに合わせて、これまでの食材の加熱に蒸気や都市ガスを使用した厨房設備から安全や省エネルギーを考慮した電気調理器具へと変更しCO₂の削減を図った。また、調理済み食品を熱い内に真空パックする装置を導入し、食材の劣化を最小限にし、冷凍・再利用できるように改善を図り、フードロスを削減した。その他、フードバンクがながわへの寄付や、子ども食堂に企業から大量に寄付された食材の一時保管場所として川崎工場を活用し、地域に貢献した。



第11回
スマートライフスタイル
大賞
優秀賞

株式会社アルファシステムズ きっかけ作りで環境問題を他人事から自分事へ ～楽しみながら取り組む環境活動～

従業員が環境問題を「他人事」ではなく、身近な「自分事」として考えるよう、様々なアプローチで「環境問題を考えるきっかけ」を作った。2022年から長年にわたり、エネルギー使用量の削減に取り組むほか、サブライエーションにおける温室効果ガス排出量の算定を行ったり、社内WEBで、家庭でもできる活動や環境関連の記事、エネルギー使用量（月次）を公開した。また、社内のeラーニングサイトで「SDGsに関するクイズ」を出題するほか、環境ボランティア有志で参加した。



第11回
スマートライフスタイル
大賞
優秀賞

新城小学校 地元企業とオンライン交流で考えるCO₂削減・スマートライフ

SDGs学習で毎日の暮らしの中でCO₂削減や環境に優しいエコな暮らし方に変えていくため電機製品の使い方や暮らし方を考え工夫した。学習成果を富士通株式会社スタッフとオンラインで意見交流をし、新たな気づきやアイデアに繋げることができた。成果について、多学年に発表する機会を設けたり、授業参観や学習発表会を通して保護者や地域の皆様に伝えた。また、新城小SDGsマイチャレンジに全校で取り組んだり、「SDGsかるた」を作成しかわさきSDGsランドに参加したりして学校全体でSDGsやCO₂削減等の活動や啓発活動を実施した。

